

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	利用者ひとり一人が楽しく生活していただく為に、基本となる独自の理念を新しく作成し、職員全体で共有していきたい。	利用者ひとり一人のことを考えた理念を創造し職員みんなで共有していきたい。	・改めて日々の介護のあり方を見つめ、理念とはどのようなものか職員全体で考える。 ・管理者を中心に重視するポイントを上げ、職員の意見を求める。	3ヶ月
2	6	利用者が外出を希望する際は同行しているが、普段玄関は施錠している。	玄関を施錠することなく利用者の自由な外出を見守りたい。	・施錠を必要としている現状を見つめ、施錠によらない利用者の具体的な安全確保のあり方について職員全体で考え取り組んでいく。	3ヶ月
3	33	重度化・終末期に向けた方針については家族等に説明を行っているが、職員間の意識にはバラつきが見られる。	重度化・終末期における介護のあり方や意識について職員全体が共有した考え方を行動したい。	・重度化・終末期における介護のあり方について、その人らしさが反映できるよう個別の方針を立て職員はもとより家族とも共有する。	3ヶ月
4	35	夜勤帯における避難訓練の取り組みが不十分である。	夜勤帯における災害時の利用者の安全確保を計りたい。	・夜勤帯を想定した避難訓練の実施 ・夜間避難の安全確保に必要とされる事柄について考え整備する。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。